

I. 事業の概要

2020 年度、豊田理化学研究所は創立 80 周年を迎え、通常の事業活動に加え各種記念行事を計画していました。しかし、2019 年末に発生した新型コロナウイルスの感染拡大が、活動全体に影響を与え、多くの行事で見直しが相次ぎました。

「フェロー研究事業」では、新規にフェロー3 名、客員フェロー1 名を採用し、全体で 15 名になりました。出張、会議はオンラインに移行し、感染状況に応じて在宅勤務等も実施しました。フェロー研究報告会は昨年度延期になっていた 1 回を含め 3 回（9 月、11 月、2 月）いずれもオンライン形式で実施しました。しかし、例年実施していた豊田理研懇話会、豊田理研ワークショップ等は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

「研究助成事業」では、豊田理研スカラー（29 件）、特定課題研究（3 件）を採択しました。これらの若手研究者の交流の場として開催している異分野若手交流会も、オンラインでの実施となりました（12 月）。また、2019 年実施の交流会を契機に募集、採択したスカラー共同研究を 4 件実施しました。

2019 年度に開始した「若手人材育成事業」のうち、その中核となる「海外大学院進学支援制度」では、初めての学生 2 名が英国オックスフォード大学の大学院博士課程に留学し、本格的に助成を開始しました。

創立 80 周年記念行事は規模を縮小して、記念植樹やノーベル化学賞受賞者の野依良治先生による記念講演会を実施しました。また、豊田理化学研究所 80 年史を発行いたしました。

財政面では、新型コロナウイルスの影響により世界経済全体が落ち込む中、トヨタグループ各社の堅調な業績のもと、豊田理研の収益は 2020 年度も引き続き高い水準になりました。この収益の中から通常の事業支出に加え、フェロー研究の共通基盤設備の導入、将来の建物大規模修繕に備えた資産取得資金の積立てを行いました。また、「若手人材育成事業」の一環として寄付を実施すると共に、「海外大学院進学支援制度」の奨学金に充てるため、昨年度に引き続き公益目的保有財産として海外金融資産を取得しました。

以下、各事業および 2020 年度に企画・推進した取り組みについて説明します。

1. 研究事業

1-1 フェロー事業

(1) フェローと研究テーマ

2020 年度は新規にフェロー3 名、客員フェロー1 名を採用し、フェロー10 名、客員フェロー5 名の計 15 名で研究活動を実施しました。表 1、表 2 に各フェローの研究テーマを示します。研究内容および成果の詳細は、「豊田研究報告 No.74」に記載の通りです。

表 1 フェローと研究テーマ

在籍	氏 名	研究テーマ
4 年目	黒田 新一（名古屋大学 名誉教授）	電場誘起 ESR による有機半導体のキャリア観測と物性の制御
	富宅 喜代一（神戸大学 名誉教授）	気相イオンの核磁気共鳴分光法の研究
3 年目	齋藤 弥八（名古屋大学 名誉教授）	ナノカーボン電界放出を利用した電子顕微鏡試作と新物質合成
	松本 吉泰（京都大学 名誉教授）	単一粒子分光による光触媒反応機構の解明
2 年目	今田 正俊（東京大学 名誉教授）	強相関電子系の新原理、新機能の理論的追究
	大門 寛 （奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授）	原子分解能ホログラフィー顕微鏡Compact DELMAの開発とその応用
	西川 恵子（千葉大学 名誉教授）	複雑凝集系の静的・動的ゆらぎの研究とゆらぎから生じる機能の解明
1 年目	伊藤 敏幸（鳥取大学 名誉教授）	イオン液体水溶液の水蒸気吸放出機構の解明
	川村 光（大阪大学 名誉教授）	フラストレーションが創るスピントクスチャ
	松下 裕秀（名古屋大学 名誉教授）	ブロック共重合体新分子設計によるメソスケールアルキメデスタイリングの踏破

表 2 客員フェローと研究テーマ

在籍	氏名	研究テーマ
3 年目	安藤 恒也（東京工業大学 名誉教授）	グラフェン上の 2 次元電子が示す不思議な性質の解明
	山下 晃一（東京大学 名誉教授）	ナノ界面におけるキャリアダイナミクスと光エネルギー変換の分子論
2 年目	喜多村 昇（北海道大学 名誉教授）	顕微レーザー光化学の研究展開
	菅原 洋子（北里大学 名誉教授）	μ SR の生命機能解析への展開
1 年目	尾崎 幸洋（関西学院大学 名誉教授）	凝集体の遠紫外分光法の基礎と応用

(2) フェロー研究報告会

フェローの研究成果を発表、議論するフェロー研究報告会を3回実施しました。表3に各報告会の発表テーマ、発表者等の詳細を示します。

第27回は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期していた、2019年度退任フェローの報告会を実施したものです。第27回と29回はオンライン上での講演、第28回は井口ホールでの講演をオンライン配信、という形式で行いました。

表 3 フェロー研究報告会

第 27 回フェロー研究報告会			
日 時	2020 年 9 月 29 日 (火)	形 式	オンラインで講演
聴講者	59 名		
発表テーマ(発表者):			
① F 型アクチンの高精度結晶構造と ATP 加水分解反応メカニズムの解明 (前田雄一郎 元客員フェロー)			
② 水溶液中の蛋白質の構造揺らぎを制御する理論の構築 (平田文男 元フェロー)			
③ 金属における超高速発光の研究 (末元 徹 元フェロー)			
④ 準結晶及び関連結晶の物質探索:新たな価数揺動系をめざして (石政 勉 元フェロー)			
第 28 回フェロー研究報告会			
日 時	2020 年 11 月 26 日 (木)	形 式	豊田理化学研究所井口ホールで講演、オンライン配信
聴講者	97 名		
発表テーマ(発表者):			
① カーボンナノチューブ内に安定化された一次元炭素長鎖の生成と評価 (齋藤弥八 フェロー)			
② バナジン酸ビスマス薄膜の光電気化学反応における助触媒効果 (松本吉泰 フェロー)			
③ スピンの液体 (今田正俊 フェロー)			
④ 原子分解能ホログラフィー顕微鏡 Compact DELMA の開発 (大門 寛 フェロー)			
⑤ イオン液体 trimethylpropylammonium bis(fluorosulfonyl)amide ($[N_{1113}][FSA]$) の特異な相挙動 ー 表面融解とその結晶化ー (西川恵子 フェロー)			
第 29 回フェロー研究報告会			
日 時	2021 年 2 月 25 日 (木)	場 所	オンラインで講演
聴講者	91 名		
発表テーマ(発表者):			
① 気相イオンの核磁気共鳴分光法の研究 (富宅喜代一 フェロー)			
② 高移動度有機半導体における電荷キャリアの ESR 観測 ー キャリア波導関数の空間的広がり (黒田新一 フェロー)			
③ 光エネルギー変換の理論・計算化学 (山下晃一 客員フェロー)			
④ グラフェンの特異な磁気抵抗効果の理論 (安藤恒也 客員フェロー)			

1-2 学術談話会

(1) 物性談話会

名古屋大学と共催で、東海地方の物性物理学研究者の啓発を図る場として活動しています。2020年度は8回の談話会を予定していました。しかし新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施を延期、8月からはオンライン形式で表4に示す6回の談話会を開催しました。1963年に発足以来、通算の開催回数は414回となりました。

表 4 2020 年度 物性談話会の活動

回	年月日	講演者	講演題目
1	2020 年 8 月 19 日(水)	北京航空航天大学 教授 土井 正男 氏	The CTR phenomena ー中国に行ったばかりの時の研究ー 聴講:51 名
2	2020 年 9 月 25 日(金)	東京大学 教授 若林 裕助 氏	情報科学を用いた薄膜試料における表面・ 界面状態の放射光解析 聴講:23名
3	2020 年 10 月 30 日(金)	東京大学 准教授 宇佐見 康二 氏	強磁性マグノンのボース・アインシュタイン凝縮 聴講:22 名
4	2020 年 11 月 18 日(水)	東北大学 准教授 好田 誠 氏	ヘリカルスピントロニクス～電子スピン波が生み 出す新奇スピン物性とその制御～ 聴講:19名
5	2020 年 12 月 8 日(火)	物質・材料研究機構構造材料 研究拠点 副拠点長 大村 孝仁 氏	材料変形の局所力学物性評価 聴講:20 名
6	2020 年 12 月 23 日(水)	筑波大学数理物質科学研究群 教授 都倉 康弘 氏	半導体量子情報処理のトレンドとコヒーレント スピン操作 聴講:20名

(2) 分子科学フォーラム

分子科学の発展を希求する幅広い研究者に討論の場を提供する事を目的に、分子科学研究所と共催で開催しており、一般市民にも公開しています。2020年度は4回のフォーラムを予定していましたが、7月はコロナ感染症拡大の影響で中止とし、10月以降はオンライン形式で表5に示す3回のフォーラムを開催しました。1996年に発足以来、通算開催回数は127回となりました。

表 5 2020 年度 分子科学フォーラムの活動

回	実施年月	講演者	講演テーマ
1	2020 年 10 月 23 日(金)	物質・材料研究機構 広報室長 小林 隆司 氏	恋愛下手？ それじゃ科学は伝わらない ～何が人をその気にさせるのか～
2	2020 年 12 月 4 日(金)	産業技術総合研究所 理事 臼田 孝 氏	科学が進めば単位が変わる ～究極の基準を求めて～
3	2021 年 2 月 5 日(金)	分子科学研究所 准教授 草本 哲郎 氏	ラジカルー 奇数個の電子をもつ分子が示す ユニークな機能

1-3 中止した行事

例年実施していた豊田理研ワークショップ、名古屋大学リーディング大学院、豊田理研懇話会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2020 年度は中止としました。

2. 助成事業

2-1 豊田理研スカラー

豊田理研スカラーは博士の学位を有し、所属大学の推薦を受けた優秀な若手教員の中から、研究課題が当所の設立趣旨、目指す方向と合致する方を選定し、研究費用の一部を助成する制度です。

(1) 2020 年度の採択状況

2020 年度は、表 6 に記載の 29 名の研究者に対し、規定の研究助成金を支給し、研究推進を支援するとともに、助成金贈呈書を授与しました。研究は年初に策定した研究計画にそって実施され、「豊田研究報告 No.74」に記載の成果を収めました。2011 年度の制度発足以来、採択者合計は 276 名になりました。

表 6 2020 年度豊田理研スカラーの所属と研究テーマ

No	大学名		氏名	職位	研究テーマ
1	北海道	工学	磯野 拓也	助教	糖鎖セグメントの導入を鍵とする高付加価値バイオベースポリマーの設計
2			百合野 大雅	助教	複数のアンビデント反応剤の同時精密制御による構造異性体の作り分け
3			小笠原 泰志	助教	一次代謝の違いを利用した経路特異的な阻害剤の探索
4		理学	清水 洋平	講師	光学活性フッ素化アミノ酸の迅速合成法の開発
5			石垣 侑祐	助教	分子構造スイッチングに基づく革新的応答系の開発
6	東北	理学	井口 弘章	助教	自在な化学ドーピングが可能な多孔性分子導体の開発
7			川上 洋平	助教	トポロジカル強相関電子の超高速光磁気ダイナミクス
8	静岡	工学	新谷 政己	准教授	DNA 配列の特徴に基づくプラスミドの宿主域の予測と検証
9			大多 哲史	助教	マルチコア構造磁性ナノ粒子における磁化応答モデルの探索と解析手法の確立
10		理学	阪東 一毅	准教授	高 Q 値有機結晶リング共振器のフーリエ分光による Q 値解析
11	豊橋技術科学	工学	原口 直樹	准教授	連続フロー合成に有効なコア-コロナ型高分子キラル触媒の開発

12	名古屋	工学	畝山 多加志	准教授	高分子材料の分子構造を反映した粗視化流動特性計算モデルの開発
13			伊藤 淳一	講師	電子供与性配位子を有する新規高機能鉄触媒の開発
14		理学	篠原 秀文	講師	基部陸上植物のペプチドホルモン-受容体ペアの機能解明
15		生命農学	田畑 亮	特任講師	新規植物ペプチドシグナリング解明に向けたゲノム科学および化学的研究手法の開発
16	名古屋工業	工学	近藤 政晴	助教	近赤外蛍光タンパク質を利用した光合成生物の明反応機能の拡張
17			瀧川 佳紀	助教	2 周波液晶混合物の誘電特性の解明と現象論による解析
18	豊田工業	工学	浮田 宗伯	教授	受精卵画像からの妊娠成否確率の推定と深層学習による推定根拠の可視化
19	京都	工学	中尾 章人	助教	電位依存性 Ca^{2+} チャネルサブユニットが司るエピジェネティクス制御における新規分子複合体の探索
20			坂本 良太	准教授	革新的ナノカーボン材料「単層グラフィジン」の精密合成とその半導体特性の解明
21			久保 拓也	准教授	π 相互作用クロマトグラフィーによる微弱分子間相互作用の解明
22		理学	足立 俊輔	准教授	水の窓域軟X線による液相の生体分子の反応ダイナミクスの観測
23			成田 秀樹	特定助教	微小センサーを用いた電流誘起電子相の検出技術の創製
24	大阪	基礎工学	山元 淳平	准教授	光遺伝子治療を志向した近赤外光に応答する人工 DNA 修復酵素の開発
25		理学	中島 正道	助教	異なる磁気揺らぎのフラストレーションが生み出す新奇量子相の探索
26			山川 智子	助教	血球細胞における小胞体形態かく乱に起因する Notch シグナル阻害因子の産生機構
27	九州	工学	加地 範匡	教授	人工腸管デバイスによる腸内フローラ構成細菌の解明
28			小野 利和	助教	らせんキラリティを持つ多核金属錯体の創製と円偏光発光材料への応用
29		理学	大橋 英治	助教	DNA 損傷応答キナーゼ ATR 活性化の分子機構

(2) 豊田理研異分野若手交流会

若手研究者の育成や連携の促進を狙いとして、「豊田理研スカラー」「特定課題研究代表者」を対象に、2016年度から「異分野若手交流会」を開催しています。例年は7月頃に1泊2日の合宿形式で実施していますが、今年度は新型コロナ感染拡大の影響で、12月18日～19日の2日間オンラインで開催しました。さまざまな分野の研究者が集合し、異分野間の情報交換やネットワーク作りを支援し、新たな研究テーマ創出の機会を提供しました。表7に概要を示します。

表 7 第 5 回 豊田理研異分野若手交流会概要

日 時	2020 年 12 月 18 日 (金)～19 日 (土)
参加者	・豊田理研スカラー(29 名) ・2019 年度スカラー(10 名) ・特定課題研究代表者(3 名) ・豊田理研フェロー(9 名) ・所長、理事(5 名) ・審査委員(6 名) 合計 62 名
内 容	< 1 日目 > 1. 全体会議 (1)開会式, 所長講演 (2)研究紹介(予め提出された約4分／テーマのビデオを編集, 連続で配信) 2. 個別質疑 (スケジュールに合わせて説明者がZoom会議を開設, 質問者は関心あるテーマの会議室に入室し討議) (1)1回目－11テーマ実施 < 2 日目 > 2. 個別質疑(続き) (2)2回目－11テーマ実施 (3)3回目－10テーマ実施 3. 全体会議 (1)スカラー共同研究の案内 (2)総括

(3) 豊田理研スカラー共同研究

この制度は「豊田理研異分野若手交流会」の場で、スカラー間で新たに生まれた「共同研究」に対して助成を行うもので、2016年度から始まりました。例年、7月頃行われる交流会参加者からテーマ提案があり、企画・運営委員会での審査を経て、その年度の下期に「豊田理研スカラー共同研究(Phase 1)」として共同研究の立ち上げを支援しています。その結果を受け、期間を延長することで更に大きな進展が期待できる共同研究テーマに対して再度審査を行い、承認されると「Phase 2」に移行し、1年間の追加助成を行っています。表8に2020年度実施の「Phase 2」の所属と研究テーマを示します。その成果は「豊田研究報告No.74」に記載の通りです。

表 8 2020 年度 豊田理研スカラー共同研究 (Phase 2)

No	共同研究テーマ名	所属・氏名
1	ピコリットル液体の物理化学計測を用いたがん細胞の理解	九州大学 教授 池ノ内 順一
		大阪大学 助教 大塚 洋一
2	箱型分子フルオロキュバンを用いた新しい電荷移動錯体の合成とその電子物性評価	東京大学 特任助教 秋山 みどり
		北海道大学 助教 柳瀬 隆
3	多階層設計による複合ナノ粒子触媒の創出	岐阜大学 助教 高井 千加
		名古屋大学 助教 中 寛史
		京都大学 助教 佐藤 喬章
4	光照射化における励起状態解析に基づく機能性分子の物性評価	京都大学 准教授 菅瀬 謙治
		京都大学 准教授 三木 康嗣

一方「Phase 1」に関しては、前項で述べたように2020年度の交流会開催が12月になり、年度内に共同研究の立ち上げを行う時間的余裕が無くなってしまいました。そこで2020年度は「Phase1」を実施せず、採択されたテーマ（3件）は2021年度から1年6カ月の期間、助成を実施することになりました。

2-2 特定課題研究

特定課題研究は、中長期的な視点から見て重要と思われる萌芽的な研究課題に取り組んでいる研究チームを激励し、その研究の進展を図り、新しい研究領域を開拓するための費用の一部を援助する制度です。2020年度は表9に示すように、2件の継続テーマと1件の新規テーマを実施しました。

各研究代表者が中心となり、コアメンバーに関係者を加えた研究会がコロナ禍の中、オンラインで開催され、新研究領域構築に向けた議論が深められました。詳細は「豊田研究報告No.74」に記載しています。

表9 2020年度 特定課題研究テーマ

No.	分類	研究代表者	コアメンバー	研究テーマ
1	継続	東京大学 准教授 岡林 潤	6名	先端磁気分光と理論計算の融合研究： 「界面多極子相互作用」が拓く新しい学理
2		大阪府立大学 教授 戸川 欣彦	8名	キラルスピンの物質科学の探索
3	新規	日本大学 准教授 井口史匡	6名	全固体エネルギー変換デバイスにおける 力学的作用

2-3 若手人材育成

豊田理研では、2019年度に「海外大学院進学支援制度」、および「寄付制度」の2つから構成される「豊田理研若手人材育成事業」を開始しました。

(1) 海外大学院進学支援制度

科学技術の分野で、海外の大学院で博士号(Ph.D.)取得を目指す日本人学生に対して、その留学を支援することにより、国際的に活躍できる人材の育成を図ることを目的としています。2019年度の1名に続いて、2020年度も1名が海外大学院進学コースに採択され、2名とも2020年10月より英国オックスフォード大学大学院の博士課程に留学し、本格的に助成を開始しました。

表 10 海外大学院進学支援制度の概要

	海外大学院進学コース	海外大学院進学準備コース
応募資格	国際科学オリンピック出場経験者	
募集対象	2022 年海外大学院入学に向け、2021 年度内に海外大学院受験を予定している者	2022 年以降の海外大学院入学を目的に、先行的に準備、調査等を行う者
支援内容	- 支援決定後： エッセイ作成指導費用等を助成 - 大学院合格後： 授業料、渡航費、渡航準備金、奨学金等の支援を実施(原則 1 人 800 万円/年以内)	支援決定後： 短期留学、語学学校費用等の支援を実施(原則 1 人 100 万円以内)
支援期間	入学後最長 2 年	海外大学院受験までの期間 但し短期留学は 1 回、語学学校は最長 1 年

表 11 海外大学院進学支援制度 2020 年留学生

氏名	高橋拓豊	早川知志
採択年	2019 年	2020 年
コース	海外大学院進学コース	
応募時所属	東京大学理学部 物理学科	東京大学大学院情報理工学系研究科 数理情報工学専攻
留学先	University of Oxford, DPhil in Condensed Matter Physics -Max Plank Graduate Center for Quantum Materials	University of Oxford, DPhil in Mathematics
留学開始	2020 年 10 月	
国際科学 オリンピッ ク実績	第 46 回国際物理オリンピック インド大会(2015 年) 銅メダル	第 55 回国際数学オリンピック 南アフリカ大会(2014 年) 金メダル

(2) 寄付制度

若手人材育成を目的に活動している公的機関や財団、組織等の中から、その活動が当財団の目指す方向と合致する場合、その支援のために寄付を行う制度です。但し、その原資は当財団が各種事業、活動を実施後になお資金的余裕がある場合に限り、法人会計より支出することとしています。

2020年度は、「将来の日本の科学技術を担う高い能力と国際性をもつ人材育成」を目的としている、科学オリンピックの活動を支援するための寄付を行いました。1つは表12に示すように、定常的に国内における科学オリンピック活動を7教科一体で実施している、日本科学オリンピック委員会への寄付。もう一つは表13に示すように、2023年に科学オリンピックの国際大会を日本で開催するための活動を行なっている、2つの実施団体への寄付です。

表 12 日本科学オリンピック委員会への寄付

対象機関	日本科学オリンピック委員会
活動内容	- 科学オリンピックは、7つの教科(数学, 化学, 生物学, 物理, 情報, 地学, 地理)で構成されている - 本委員会は、上記7教科の実施団体が組合を結成し、「教科, 産官学の枠を超えた協同」を目指して、一体となって活動を推進している - 事務局は科学技術振興機構(JST)が担当し、横断的な支援を実施している
寄付金用途	寄付金は各教科に規定の割合で配分され、各団体の国内大会実施のための活動費用の一部に充当
寄付金額	1,000 万円

表 13 日本で開催する科学オリンピックの国際大会への寄付

大会名	第53回国際物理オリンピック IPhO 2023 日本大会	第64回国際数学オリンピック IMO 2023 日本大会
開催日程	2023 年 7 月 10 日～ 17 日(東京)	2023 年 7 月 2 日～ 13 日(千葉)
実施団体	国際物理オリンピック 2023 協会	数学オリンピック財団
参加国数	約 90 カ国	約 110 カ国
寄付金用途	大会運営費の一部に充当	大会運営費の一部に充当
寄付金額	300 万円	300 万円

3. 創立 80 周年記念行事

2020年度、豊田理研は創立80周年を迎えました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初計画していた記念行事で取り止めになったものもありましたが、以下を実施しました。

- (1) 記念植樹式(11月3日)
- (2) 記念講演会(11月11日) 表14参照
- (3) 豊田理化学研究所80年史発行

表 14 豊田理化学研究所創立 80 周年記念講演会

開催日	開催場所	講演者	演題	聴講者
2020 年 11 月 11 日	大手町 三井ホール (東京)	国立研究開発法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター長 野依 良治 氏	科学技術は我が国の「生 存の条件」である	会場:約 100 名 オンライン:約 600 名

* 創立60周年の豊田中央研究所と共催

4. 広報活動

4-1 豊田研究報告

研究者の研究業績の公開と蓄積のため、「豊田研究報告」を年 1 回刊行しています。2020 年度は、第 73 号を発行しました。研究論文、報告はフェロー10 件、元フェローによる特別寄稿 1 件、豊田理研スカラー33 件、スカラー共同研究 3 件、特定課題研究 3 件で合計 50 件となりました。また、豊田理研の 1 年の活動内容を要約した「2019 年度豊田理化学研究所の活動」を掲載しました。交換雑誌として広く大学、図書館等へ配付しました。

4-2 ホームページ

財団概要、事業紹介、豊田理研フェローの研究内容や成果を掲載したフェロー紹介等をはじめ、公募や講演会のお知らせ等、研究所の活動をタイムリーに発信しています。

Ⅱ．処務の概要

1. 役員に関する事項

(1) 監事改選

2020年6月22日付けで、好川純一監事が退任し、山口千秋評議員が新たに監事に就任しました。また、豊田鐵郎監事は評議員に就任しました。

2021年3月31日現在の役員は、別表1.「役員・評議員名簿」を参照。

2. 職員に関する事項

2021年3月31日現在の職員は、別表2.「研究職員名簿」、および別表3.「事務職員名簿」を参照。

3. 役員会に関する事項

2020年度は、通常理事会2回、臨時理事会2回、および定時評議員会1回、臨時評議員会1回を開催いたしました。表15に示すように、上記には新型コロナウイルス感染対策として書面審議に移行したものが含まれます。

表15 理事会、評議員会の開催状況

役員会	開催年月日	議案	結果
第36回 通常理事会 (書面審議)	2020年 6月5日(金)	1) 2019年度 事業報告書承認の件 2) 2019年度 決算報告書承認の件 3) 監事改選の件 4) 審査委員改選の件 5) 第20回評議員会(書面審議)開催の件	承認 承認 承認 可決 可決
第20回 定時評議員会 (書面審議)	2020年 6月22日(月)	1) 2019年度 事業報告書の件 2) 2019年度 決算報告書の件 3) 監事改選の件	可決 可決 可決
第37回 臨時理事会 (書面審議)	2020年 8月7日(金)	1) 海外大学院進学候補者の件 2) 2021年度フェロー候補者の件	可決 可決
第38回 臨時理事会 (書面審議)	2021年 2月22日(月)	1) 第21回評議員会招集の件	可決

第 39 回 通常理事会	2021 年 3 月 12 日(金)	1) 2021 年度 事業計画書の件 2) 2021 年度 収支予算書の件 3) 海外大学院進学支援のための海外金融資産取得の件 4) 寄付の件	可決 可決 可決 承認
第 21 回 臨時評議員会	2021 年 3 月 12 日(金)	1) 寄付の件	可決

4. 許可・認可・証明等に関する事項

該当事項無し

5. 契約に関する事項

- (1) 技術協力契約 株式会社豊田中央研究所(2020 年 4 月 1 日)
- (2) 事業用借地権設定契約のための覚書 トヨタ自動車株式会社(2020 年 4 月 1 日)
- (3) 監査契約書 後藤公認会計士事務所(2020 年 4 月 1 日)
- (4) 出向社員の取扱に関する協定書 株式会社豊田中央研究所(2020 年 10 月 1 日)
- (5) 業務災害補償保険(2020 年 6 月 1 日)
- (6) 賠償責任保険(研究棟、井口記念ホール) 三井住友海上火災保険株式会社
(2021 年 2 月 28 日)
- (7) 業務委託契約 株式会社トヨタアカウンティングサービス(2021 年 4 月 1 日)
- (8) 警備業務請負契約書 株式会社トヨタエンタプライズ(2020 年 4 月 1 日)
- (9) 共同研究契約 東北大学、東京工芸大学、(株)アヤポ(2020 年 6 月 22 日)
- (10) 共同研究契約 米子工業高等専門学校(2020 年 5 月 28 日)
- (11) 共同研究契約、機密保持契約 鳥取大学、東京理科大学、産業技術総合研究所、
長瀬産業(株)(2020 年 11 月 1 日)
- (12) 共同研究契約 鳥取大学 (2020 年 11 月 30 日)
- (13) ジョイントアポイントメント教員に関する覚書 早稲田大学(2020 年 4 月 1 日)

6. 主務官庁の指示に関する事項

該当事項無し

7. その他重要事項

該当事項無し

別表 1

役員・評議員名簿

(2021 年 3 月 31 日現在)

(理事の任期:2019 年 6 月 11 日～2021 年 6 月開催予定の定時評議員会終結の時)

	氏 名	現 職 等	備考
理事長 (代表理事)	豊田章一郎	トヨタ自動車株式会社 名誉会長	
所長 (代表理事)	玉尾皓平	国立研究開発法人 理化学研究所 荣誉研究員 仁科加速器科学研究センター 客員主管研究員	常勤
常務理事 (業務執行理事)	斎藤 卓	株式会社豊田中央研究所 顧問	常勤
	石田清仁	国立大学法人東北大学 名誉教授	
	石橋善弘	国立大学法人名古屋大学 名誉教授	
	井上博允	国立大学法人東京大学 名誉教授	
	鵜飼裕之	学校法人東邦学園 愛知東邦大学 副学長	
	川合眞紀	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 分子科学研究所 所長	
	菊池 昇	株式会社豊田中央研究所 代表取締役所長	
	北川禎三	自然科学研究機構 分子科学研究所 名誉教授	
	榊 裕之	学校法人トヨタ学園 豊田工業大学 常務理事	
	立花貞司	学校法人名城大学 理事長	
	張 紀久夫	国立大学法人大阪大学 名誉教授	
	豊田章男	トヨタ自動車株式会社 取締役社長	
	豊田幹司郎	アイシン精機株式会社 取締役会長	
	中村新男	国立大学法人名古屋大学 名誉教授	

(監事の任期:2020 年 6 月 22 日～2024 年 6 月開催予定の定時評議員会終結の時)

	氏 名	現 職 等
監 事	加藤伸一	トヨタ自動車株式会社 元副社長
	山口千秋	東和不動産株式会社 元社長

(評議員の任期:2019 年 6 月 11 日～2023 年 6 月開催予定の定時評議員会終結の時)

	氏 名	現 職 等
評議員	安形哲夫	株式会社ジェイテクト 元社長
	池渕浩介	トヨタ自動車株式会社 元副会長
	市橋保彦	日野自動車株式会社 取締役会長
	内山田竹志	トヨタ自動車株式会社 取締役会長
	大橋正昭	愛知製鋼株式会社 元会長
	奥平総一郎	ダイハツ工業株式会社 取締役社長
	加藤宣明	株式会社デンソー 元会長
	加藤光久	株式会社豊田中央研究所 アドバイザー
	加留部 淳	豊田通商株式会社 取締役会長
	張富士夫	トヨタ自動車株式会社 元名誉会長
	豊田周平	トヨタ紡織株式会社 取締役会長
	豊田鐵郎	株式会社豊田自動織機 取締役会長
	濱口道成	国立研究開発法人 科学技術振興機構 理事長
	深谷紘一	株式会社デンソー 元会長
	増井敬二	トヨタ車体株式会社 取締役社長
	増田義彦	学校法人トヨタ学園 理事長
	宮崎直樹	豊田合成株式会社 取締役会長

別表 2

研究職員名簿

(2021 年 3 月 31 日現在)

資 格	氏 名	就 任 年 月	備 考
フェロー	黒田 新一	2017 年 4 月	常 勤
	富宅 喜代一	2017 年 4 月	常 勤
	齋藤 弥八	2018 年 4 月	常 勤
	松本 吉泰	2018 年 4 月	常 勤
	今田 正俊	2019 年 4 月	常 勤
	大門 寛	2019 年 4 月	常 勤
	西川 恵子	2019 年 4 月	常 勤
	伊藤 敏幸	2020 年 4 月	常 勤
	松下 裕秀	2020 年 4 月	常 勤
客員フェロー	安藤 恒也	2018 年 4 月	非 常 勤
	山下 晃一	2018 年 4 月	非 常 勤
	喜多村 昇	2019 年 4 月	非 常 勤
	菅原 洋子	2019 年 4 月	非 常 勤
	尾崎 幸洋	2020 年 4 月	非 常 勤

別表 3

事務職員名簿

(2021 年 3 月 31 日現在)

所 属	氏 名	就任年月	担当業務(役職)
事 務 局	藤川 武敏	2015 年 2 月	事務全般(事務局長)
	阿知波 幹夫	2019 年 7 月	事務全般(主査)
総務グループ	野口あゆみ	2008 年 4 月	一般事務(リーダー)
	浜辺 宏子	2014 年 7 月	一般事務
	加藤 美香	2017 年 4 月	一般事務
研究支援グループ	松島 悟	2017 年 1 月	テクニカルスタッフ(リーダー)
	宮下 政則	2015 年 9 月	テクニカルスタッフ
	鈴木 教友	2016 年 2 月	テクニカルスタッフ
	伊東 一彦	2018 年 4 月	テクニカルスタッフ
	太田 充彦	2020 年 10 月	テクニカルスタッフ

付属明細書について

2020 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2021 年 5 月
公益財団法人 豊田理化学研究所